

琉球大学学術リポジトリ

ベトナムの農業と作物生産の可能性(要旨)

メタデータ	言語: 出版者: 南方資源利用技術研究会 公開日: 2014-10-26 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 松本, 重男 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/0002016976

○ 特別講演会要旨

ベトナムの農業と作物生産の可能性 (要旨)

九州大学農学部・教授 松本重男

1. 土地と人口

国土は北緯8° 34' のカマウ岬を最南端とし、南（シナ）海に東面して北に延び、中国の雲南省と広西壮族自治区に北緯22～23° あたりに接している。

国土の各種の面積と人口は表1の通りである。感じをつかみやすくするため、日本とタイを各々1とした時の倍数を付記する。

表1 土地と人口 (1985年)

国土総面積	3296万ha	(0.89,	0.64)
耕地面積	615万ha	(1.46,	0.35)
樹園地面積	59万ha	(1.05,	0.30)
永年採草地及び牧草地	27万ha	(0.44,	0.87)
森林面積	1310万ha	(0.52,	0.86)
総人口	59713千人	(0.49,	1.16)
農業人口	37192千人	(3.80,	1.10)

2. 農業地帯

海岸線に沿った平坦地と大河のデルタに農業地帯が広がっている。自然的環境条件により3地帯に大別できる。

- 1) 北緯20° 付近のソンコイ川（紅河）デルタ地帯で年間降雨量はハノイで1761mm, 11～4月が乾季となる湿潤冬季乾燥気候である。
- 2) 北緯17° 付近を中心とした南北に長い中部沿海平地地帯で、年平均気温25.7℃, 年間降雨量はユエで2860mm, 降雨は夏に多いが、冬季にも降雨がある。
- 3) 北緯10° 付近のメコンデルタ地帯で、5～10月が雨季の熱帯モンスーン気候である。ホーチミン（サイゴン）で年間降雨量は1808mm, 年平均気温27.0℃である。

3. 作物生産の現状

F. A. O. のProduction Yearbookにより作物生産状況をみれば、表2の通りである。

表2 作物別生産状況(1985年)

種 類	収穫面積 (1000ha)	単収 (kg/ha)	生産量 (1000MT)
穀類	6132 (2.26, 0.53)	2634 (0.45, 1.26)	16150 (1.02, 0.66)
コメ	5700 (2.43, 0.59)	2737 (0.44, 1.34)	15600 (1.07, 0.80)
トウモロコシ	400 (400, 0.21)	1250 (2.64, 0.51)	500 (---, 0.11)
需根類	928 (3.86, 0.73)	5641 (0.23, 0.35)	5235 (0.89, 0.26)
ジャガイモ	28 (0.22, 28.0)	8393 (0.29, 0.77)	235 (0.06, 29.4)
サツマイモ	400 (6.06, 0.10)	5000 (0.22, 0.56)	2000 (1.31, 5.63)
キャッサバ	500 (---, 0.41)	6000 (---, 0.37)	3000 (---, 0.15)
豆 類	190 (2.16, 0.33)	789 (0.48, 1.18)	150 (1.03, 0.39)
インゲン等	58 (0.68, 0.12)	1207 (0.73, 1.82)	70 (0.50, 0.23)
ダイズ	160 (1.19, 0.81)	750 (0.42, 0.50)	120 (0.50, 0.41)
ラッカセイ	160 (5.93, 1.21)	750 (0.40, 0.59)	120 (2.35, 0.72)
カスタービーン	4 (---, 0.10)	750 (---, 0.81)	3 (---, 0.08)

表2 作物別生産状況(続)(1985年)

種類	収穫面積 (1000ha)	単収 (kg/ha)	生産量 (1000MT)
ゴマ	30 (30, 0.77)	522 (0.87, 0.77)	16 (---, 0.62)
実 棉	16 (---, 0.18)	563 (---, 0.48)	9 (---, 0.09)
棉 実			6 (---, 0.09)
ココナッツ			400 (---, 0.36)
コブラ			64 (---, 1.83)
野菜類			3175 (0.21, 1.03)
果物類			3550 (0.61, 0.65)
堅果類			2 (0.04, 0.13)

サトウキビ	1 1 1 (3.0 8, 0.2 0)	4 3 2 4 3 (0.5 9, 0.9 3)	4 8 0 0 (1.8 3, 0.1 9)
パイナップル			4 0 5 (1 0.9, 0.2 3)
バナナ			1 3 0 0 (1 3 0 0, 0.8 2)
コーヒー	3 2 (---, 1.1 0)	3 7 5 (---, 0.4 8)	1 2 (---, 0.5 2)
茶	6 0 (0.9 8, 5.4 5)	5 6 7 (0.3 6, 3.3 9)	3 4 (0.3 5, 17.0)
タバコ葉	3 5 (0.7 3, 0.3 8)	9 4 3 (0.3 7, 0.9 5)	3 3 (0.2 7, 0.3 7)
ジュート	2 4 (---, 0.1 1)	1 8 7 5 (1.2 5, 1.4 8)	4 5 (---, 0.1 7)
棉毛			3 (---, 0.0 9)
センイ作物			1 1 5 (---, ---)
ゴム			5 8 (---, 0.0 9)
生糸			3 3 0 (0.0 3, 0.2 5)

畜産関係の生産状況は表3の通りである。

表3 動物生産状況(1985年)

種類	生産量(千頭)	種類	生産量(千頭)
馬	130(5.65, 6.50)	牛	2150(0.46, 0.45)
水牛	2800(---, 0.45)	豚	11500(1.07, 2.67)
羊	19(0.79, 0.42)	山羊	268(5.25, 3.62)
鶏(百万羽)	70(0.21, 0.89)	あひる(同)	22(---, 1.47)

作目の種類で見ると、ベトナムに見られず日本に見られるものとして大麦、ライ麦、えん麦、ミレット、ヤム(山芋)、タロ(里芋)、ソラマメ、ナタネ、エンドウ、亜麻その他多種の野菜類があり、タイと比べて見てもタロ、パーム核油、パーム油、野菜(トマト、カボチャ、キウリ、ナス、ニンニク、エダマメ)はタイに見られて、ベトナムに見られない。

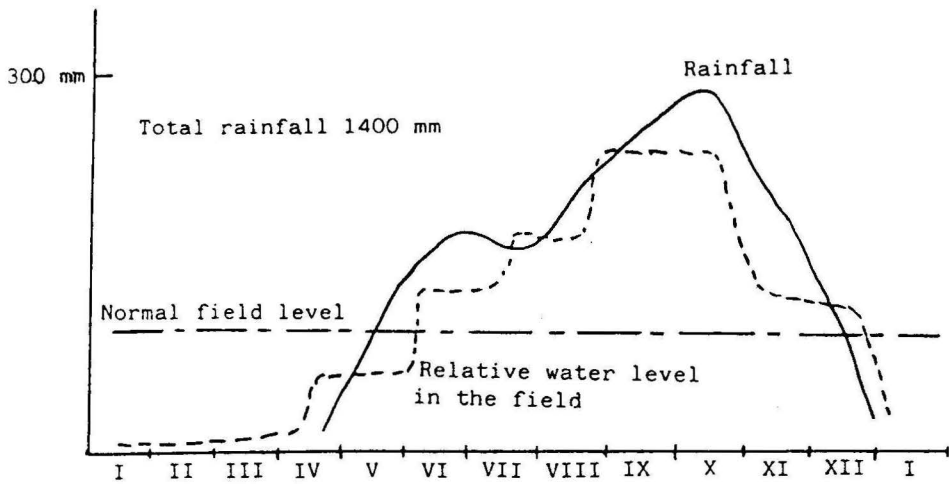
次に単収をみると、各作物とも極端に低収である。

4. 作物生産の可能性

ソンコイ川デルタ地帯は主要イナ作地で単収は2～2.5 t/ha位、品種、水管理、育苗技術に問題がある。マーケットには野菜、果実など種類は多いといえず、品質も良いとはいえない。

メコンデルタ地帯は川に近いところは肥沃地で、遠いところほど水の管理もきかずせき薄地である。自然立地によって4稲作体系に大別でき、収量性は浮稻の1.2 t/haから、水管理のきく多収性新品種栽培田では4.5～6 t/haと開きがある。

総じて、物資が乏しいので、低コスト作物生産体系の確立が必要で、熱帯作物を増産し、食品加工技術移転を受けて輸出し、外貨獲得を図りたいと考えていた。



Tr. Rice (1.5 million ha)

seedling transplanting harvesting

3 ton/ha

(no fertilizer or maximum 20-20-0)

HY Rice + Tr. Rice (0.1 million ha)

seeding

HY (50-20-0) 4 ton/ha

Tr. (20-20-0) 1.5 ton/ha

Floating Rice (0.23 million ha)

direct seeding

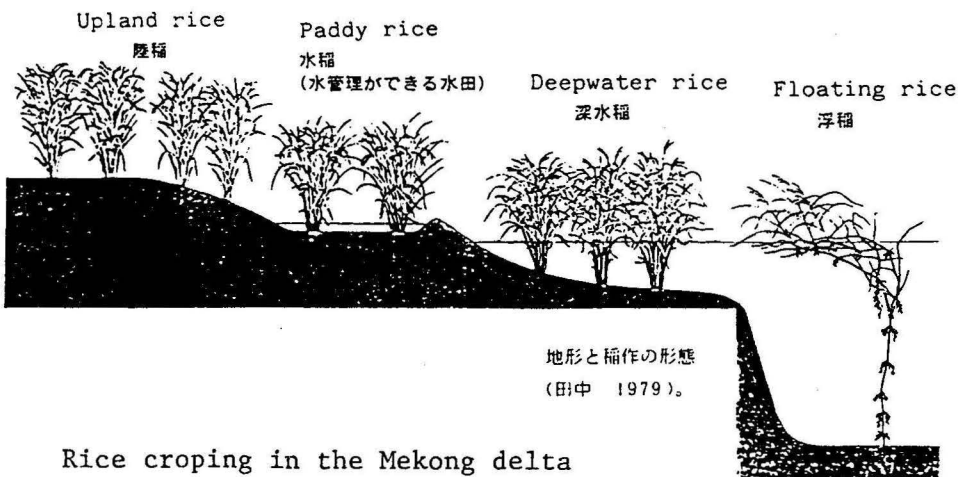
(none)

1.2 ton/ha

HY Rice + HY Rice (irrigated) (0.4 million ha)

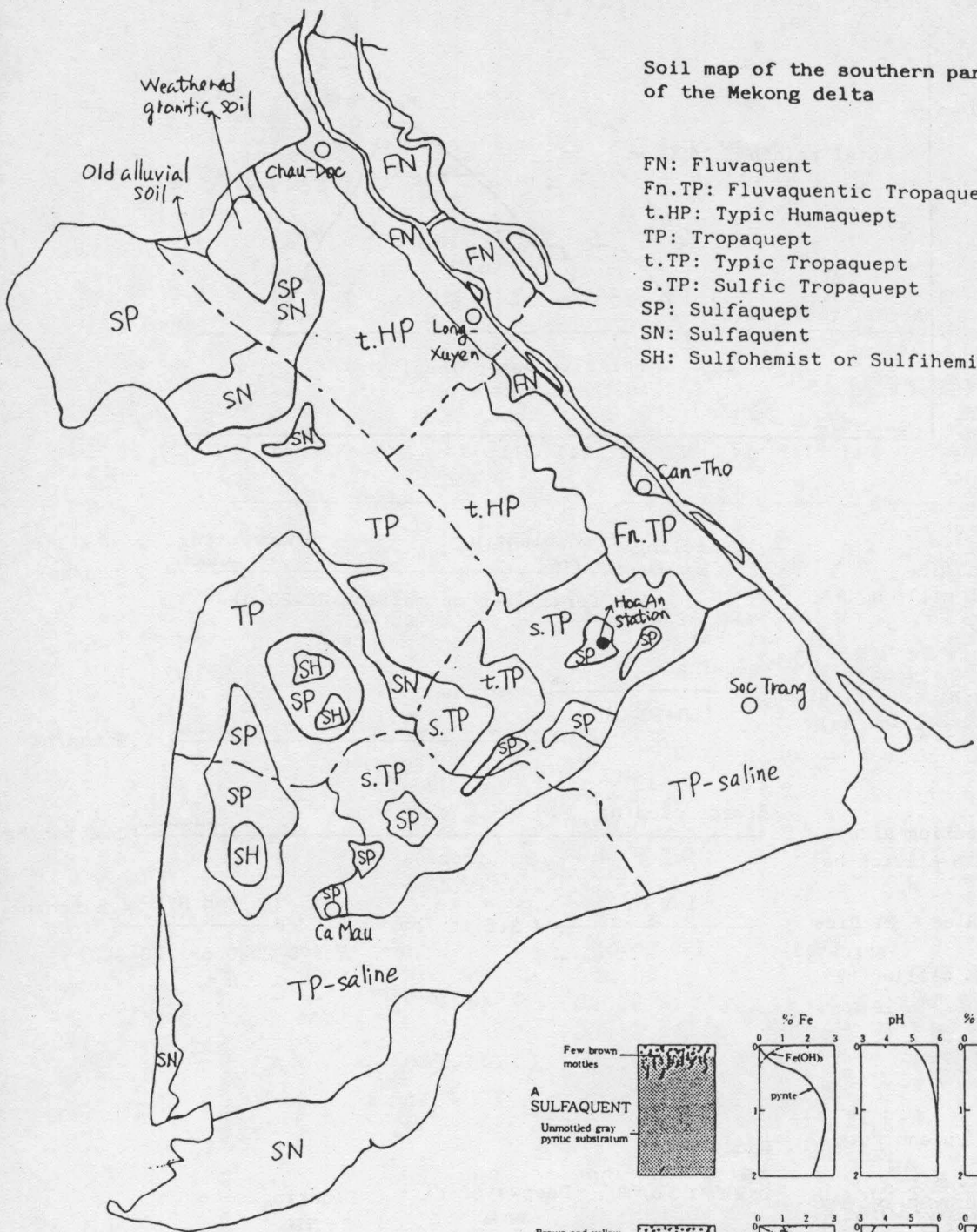
1st HY (50-20-0) 3.5 ton/ha

2nd HY (70-20-0 or 150-0-0) 4.5 ton/ha

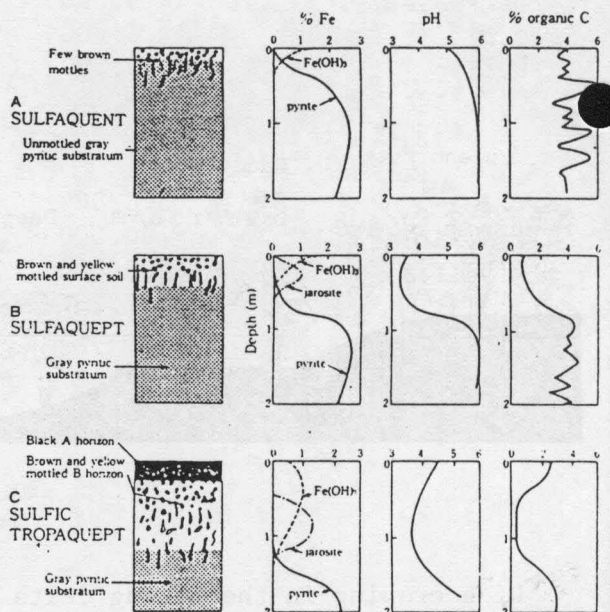


Rice cropping in the Mekong delta

Soil map of the southern part of the Mekong delta



- FN: Fluvaquent
- Fn.TP: Fluvaquentic Tropaquept
- t.HP: Typic Humaquept
- TP: Tropaquept
- t.TP: Typic Tropaquept
- s.TP: Sulfic Tropaquept
- SP: Sulfaquept
- SN: Sulfaquent
- SH: Sulfohemist or Sulfihemist



Sulfaquent - Sulfaquept - Sulfic Tropaquept 系列の土壤断面発達過程模式図 (van Breemen and Pons [1978])